

施策評価調書(5年度実績)

施策コード Ⅲ-2-(2)

政策体系	施策名	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	139
	政策名	芸術文化による創造県おおいの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	芸術文化ゾーンを核とした取り組み	芸術文化の創造性を生かした行政課題への対応	芸術文化を生かした地域づくりの推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		5年度			6年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125	
i	子どもたちが芸術文化に触れる機会(人)	①②③	H26	11,896	13,500	16,990	125.9%	13,750					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	県立美術館の教育普及事業、NPO法人大分県芸術文化振興会議の文化キャラバンによる芸術文化団体のアウトリーチ活動やピノキオコンサートを実施し、目標値を達成することができた。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・県立美術館の企画展にあわせて、JR大分駅のプラットフォームに、県ゆかりのアーティストが作品を制作・展示する「OPAM at Platform of Oita Station」を実施。連動してアーティストの制作物を担いで商店街をねり歩くイベント「どこでも駅」を実施し、芸術文化ゾーンの活性化を図った。
②	・芸術文化に触れる場づくりを推進するため、保育園や学校などを対象にワークショップを開催し、6,422人が参加した。 ・文化活動を通じた特別支援学校の児童・生徒と高校生の交流(11回)や、県内の児童・生徒による作品展示の機会を通じ、相互理解の促進を図った。
③	・国際的に活躍するトム・フルーイン氏と栗林隆氏による作品を別府市に設置し、全国版雑誌等でも取り上げられた効果もあり、多くの地域住民や観光客が鑑賞に訪れた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(5年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	芸術文化ゾーン拠点創出事業	103.0	342
③	芸術文化施設を拠点とした観光循環創出事業	103.0	342
②	未来の芸術文化担い手育成事業	100.0	339
③	芸術文化による地域おこし事業	228.7	343

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○R5年第1回大分県文化振興県民会議(R5.9)</p> <p>・カルチャーツーリズムについては、R6年にデスティネーションキャンペーン、R7年には大阪・関西万博が開催されることから、インバウンドも見据えた取組が必要。</p>
--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・県立総合文化センターと県立美術館を芸術文化ゾーンの核として、近隣商店街や文化施設、民間企業等との連携を強化するとともに、芸術文化の創造性を活用した民間施設等におけるコンサートやワークショップの開催等、産業の高付加価値化や地域の元気創出につなげる。 ・大阪・関西万博などの大規模イベントも見据えながら、海外でも人気の高い竹工芸等の魅力を国内外に発信し、県立美術館と竹工芸、現代アート等の地域の文化資源を巡るカルチャーツーリズムを推進していく。 ・JR大分駅や県内各地の観光地等において、ミニコンサート等のアートイベントを開催し、誰もが気軽に芸術に触れ楽しむことができる機会を創出することで地域の活性化を図る。 ・文化活動を通じた特別支援学校と県立高校の相互理解の促進や誰もが参加できる活動機会の創出に向け、共同制作を通じた交流を進める。